

■ 佐賀城公園

佐賀城公園は佐賀市の中央部城内に位置し歴史的価値のある佐賀城跡を中心としたお濠に囲まれた都市公園で周辺には博物館、美術館、体育館、図書館などの施設があり市民の憩いの広場となっています。

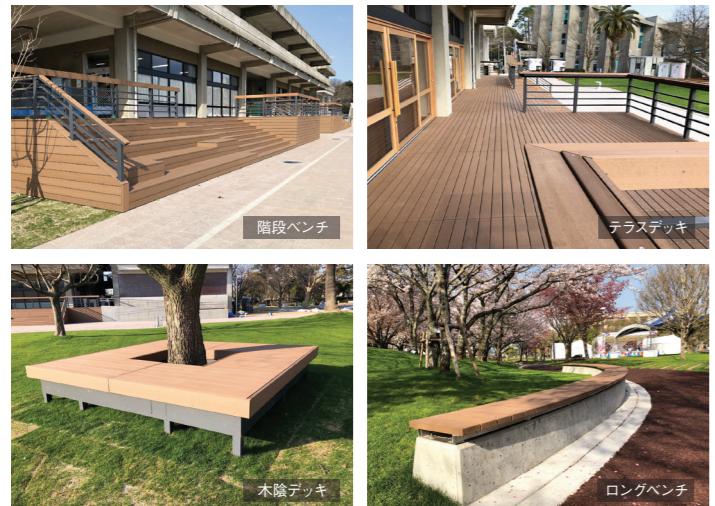
「肥前さが幕末維新博覧会」が佐賀県主催で2018年3月17日～2019年1月14日の期間開催され、200万人を超える来場者があり大盛況で閉幕しました。現在は幼稚園の遠足、家族連れの憩いの場、若者の集いの場等として年齢問わず様々な方が利用されています。

この公園を訪れる方々にとってより快適な憩いの場として利用していただければと思います。園内は芝生広場もあり家族連れがお勧めです。新しく整備された佐賀城公園にこの機会に立ち寄ってみてください。

19 佐賀城公園 図書館前広場 テラスデッキ・階段・ベンチなど

そのイベント開催に伴い、メイン会場である幕末維新記念館西側図書館前広場のリニューアル整備が行われ図書館と広場をつなぐテラスデッキ、階段、階段ベンチ、バルコニーデッキ、広場の木陰デッキ、ロングベンチ、背付きベンチを弊社にて製作、施工させて頂きました。

現場では工期が厳しく製品の設計変更、追加工事も多く、狭い空間で複数の業者が入り、トラック、クレーンの進入も容易ではなかった為工程面、安全面に非常に気を遣う現場でした。完成に向けて各業者が密に工程を詰め協力し合った結果、無事工期内完成となりました。テラスデッキの完成で広場から直接図書への出入りができ、休憩スペースとしても利用されています。



●テラスデッキ(西側、東側)／W1673 × L42803

本体：ステンレス束 根太材：ZAM銅板 床板：SEウッド(再生木)
設計金額：¥7,100,000-(材工)

●階段・階段ベンチ・バルコニーデッキ(西側、東側)／W3625×L39600

本体：下地鉄骨:SS400材溶融亜鉛メッキ、SEウッド(再生木)
設計金額：¥40,500,000-(材工)

●木陰デッキ(縁台)／3000×3000

本体：STKR材溶融亜鉛メッキ、SEウッド(再生木)
設計金額：¥1,744,000-(材工)

●ロングベンチ／W400×L10850

本体：ステンレスHL、SEウッド(再生木)
設計金額(船体別)：¥755,000-(材工)

●背付きベンチ／W1600×D510

本体：STKR溶融亜鉛メッキ、リン酸処理、SEウッド(再生木)
設計金額：¥260,000-(材工)

発注元：佐賀県佐賀土木事務所
設計事務所：サンコーコンサルタント株式会社
設置場所：佐賀県佐賀市内

設計・製作・施工：株サイト
サイト担当者：田代・渡木・奥
竣工時期：平成30年3月

20 佐賀城公園 美術館・博物館前広場 パーゴラ・ベンチなど

美術館・博物館前広場では、パーゴラ(大)(小)、平型ベンチ、小ベンチ、長ベンチ(大)、長ベンチ(小)を弊社にて製作、施工をさせて頂きました。

意匠的には立方体形状を強調したデザインで、宙に浮いたような印象を与えた構造としました。緑の芝生が広がる中にオブジェのような休憩施設が点々と不規則に並んでいるのが、見慣れた公園とは違った空間印象を与えています。



●パーゴラ(大)／W3205 × D3000 大テーブル:W1500×D985、小ベンチ:W405×D405

パーゴラ：STKR溶融亜鉛メッキ、リン酸処理 ルーバー：再生木
大テーブル・ベンチ：STKR溶融亜鉛メッキ、リン酸処理、座板：再生木
設計金額：パーゴラ大(土間デッキ含む)：¥3,334,000/基(材工)
大テーブル：¥342,000-/基(材工) 小ベンチ：¥118,000/基(材工)

●パーゴラ(小)／W2400×D2400 小テーブル:W1400×D655、小ベンチ:W405 × D405

パーゴラ：STKR溶融亜鉛メッキ、リン酸処理 ルーバー：再生木
小テーブル・小ベンチ：STKR溶融亜鉛メッキ、リン酸処理、座板：再生木
設計金額：パーゴラ小(土間デッキ含む)：¥3,234,000-/基(材工)
小テーブル：¥282,000-/基(材工) 小ベンチ：¥118,000-/基(材工)

●平型ベンチ／W1605×D1605

本体：STKR、溶融亜鉛メッキ、リン酸処理、座板：再生木
設計金額：¥472,000-/基(材工)

●長ベンチ(大)／W2400×D405

本体：STKR、溶融亜鉛メッキ、リン酸処理、座板：再生木
設計金額(船体別)：¥227,000-/基(材工)

●長ベンチ(小)／W1600×D405

本体：STKR、溶融亜鉛メッキ、リン酸処理、座板：再生木
設計金額：¥195,000-/基(材工)

発注元：佐賀県佐賀土木事務所
設計事務所：(株)協和コンサルタント
設置場所：佐賀県佐賀市内

設計・製作・施工：株サイト
サイト担当者：加藤・渡木・小笠原
竣工時期：平成29年12月

◆ 東京事務所 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-6-7
TEL : 03-6424-4020
FAX : 03-6424-4021

◆ 長崎事務所 〒852-8026 長崎市金振町30-3
TEL : 095-818-1033
FAX : 095-808-1036

◆ 東海事務所 〒491-0053 愛知県一宮市今伊勢町本神戸山王1-803
TEL : 0586-52-5955
FAX : 0586-52-5956

◆ 仙台事務所 〒981-3214 仙台市泉区館2-6-1
TEL : 022-343-9984
FAX : 022-343-9164

◆ 広島事務所 〒732-0014 広島市東区戸坂大上4-23-5
TEL : 082-516-6603
FAX : 082-516-6604

◆ 佐野工場 〒327-0812 栃木県佐野市町谷町303-1
TEL : 0283-86-7245
FAX : 0283-86-7246

◆ 本社/工場 〒818-0046 福岡県筑紫野市山口1929-7
TEL : 092-925-9858
FAX : 092-925-9857

21

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」 長崎県各所 世界遺産登録銘板など

昨年7月ユネスコ(国連教育科学文化機構)の世界遺産委員会により、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が国内22件目となる世界遺産として登録されました。弊社では登録銘板、OUV・構成資産解説サインA、B、要素解説サイン、記名サインの合計54基のサインを設計、製作し納入させて頂きました。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン遺産」はキリスト教禁教による宣教師不在の中、神道や仏教等の日本伝統的宗教や一般社会と関わりながら信仰を続けた潜伏キリシタンの伝統のあかしとなる遺産群です。それらは、国内に宣教師が不在となってキリストが潜伏したきっかけや信仰の実践と共同体の維持のためひそかに行った様々な試みそして宣教師との接触により転機を迎え、潜伏が終わりを迎えるまでの歴史を物語る長崎県、熊本県の6市2町にまたがる12の遺産で構成されています。

意匠的には、長崎県、熊本県の協議会にて作成されたガイドラインに基づき弊社で詳細設計を行いました。素材は本体インド産黒御影石(佐世保市は地元黒島産御影石)、表示面印刷は高耐候性印刷SRCメタル印刷をご採用頂き、解説文にはQRコードにより多言語での説明が入っており、より詳しい解説が読み取れます。本体が黒御影石で重厚感ある世界遺産にふさわしいサインに仕上がりました。

この世界遺産の来訪者に全体の価値における位置づけ、より詳しい歴史などお伝え出来るものと思います。長崎、天草にお越しの際は是非この機会にお立ちよりください。

— 12の遺産とは —

- ①原城跡(南島原市)・②平戸の聖地と集落(春日集落と八満岳)(平戸市)・
③平戸の聖地と集落(中江ノ島)(平戸市)・④天草の崎津集落(天草市)・⑤外海の出津集落(長崎市)・⑥外海の大野集落(長崎市)・⑦黒島の集落(佐世保市)・⑧野崎島の集落(小值賀町)・⑨頭ヶ島の集落(新上五島町)・⑩久賀島の集落(五島市)・⑪奈留島の江上集落(五島市)・⑫大浦天主堂(長崎市)



ガイドライン作成・意匠決定：長崎県、熊本県
発注元：南島原市役所、平戸市役所、天草市役所、佐世保市役所、小値賀町役場、新上五島町役場、五島市役所
設計事務所：委託なし
設置場所：南島原市、平戸市、天草市、佐世保市、小値賀町、新上五島町
設計・製作：(株)サイト
サイト担当者：渡木・岡松
竣工時期：平成31年3月
(五島市は令和元年6月、小値賀町は令和元年7月竣工)

●世界遺産登録銘板／H1600×W620

本体：黒御影石(インド産)(佐世保市は黒島産御影石)・真鍮飾物は長崎県より支給品
表示面：SRCメタル印刷 設計金額：¥615,000-(本体のみ)

●OUV・構成資産解説サインA／H1600×W610

本体：構造STKR・黒御影石(インド産)貼り(佐世保市は黒島産御影石)
表示面：SRCメタル印刷 設計金額：¥875,000-(本体のみ)

●OUV・構成資産解説サインB／H1600 × W1050

本体：構造STKR・黒御影石(インド産)貼り
表示面：SRCメタル印刷 設計金額：¥1,420,000-(本体のみ)

●要素解説サインA／H1600×W610

本体：構造STKR・黒御影石(インド産)貼り(佐世保市は黒島産御影石)
表示面：SRCメタル印刷 設計金額：¥875,000-(本体のみ)